

経営比較分析表

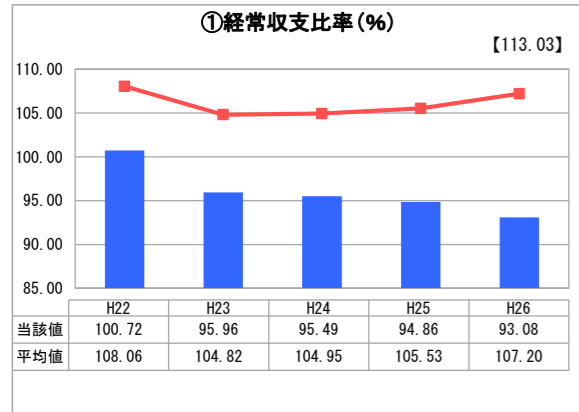
岐阜県 関ヶ原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A8
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	65.39	92.95	3,450

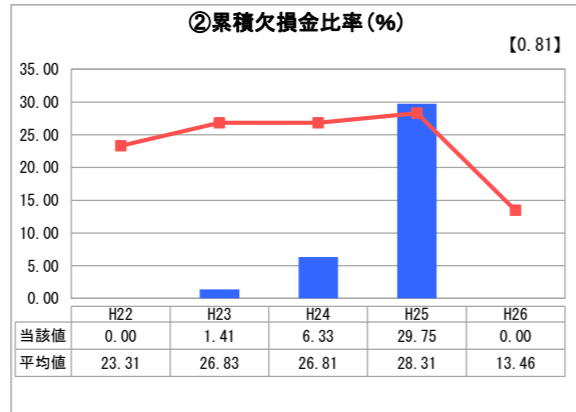
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,720	49.28	156.66
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,130	12.00	594.17

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

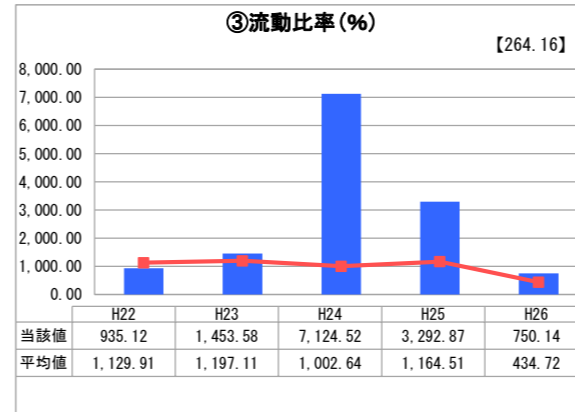
1. 経営の健全性・効率性



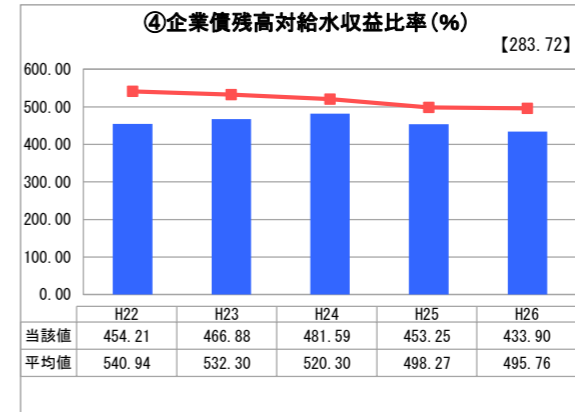
「経常損益」



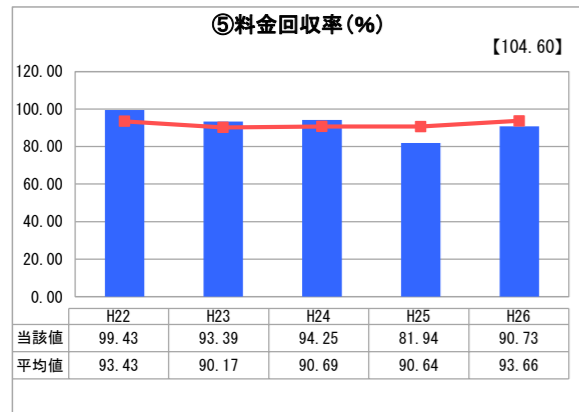
「累積欠損」



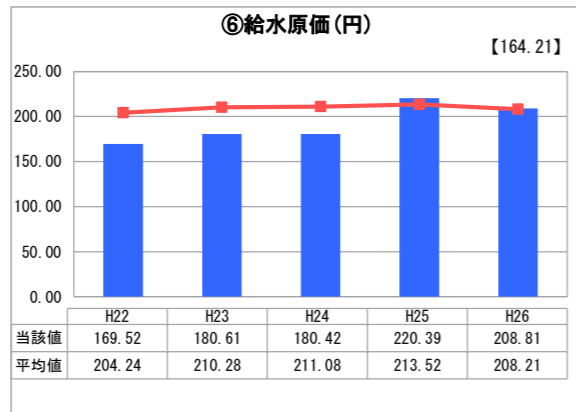
「支払能力」



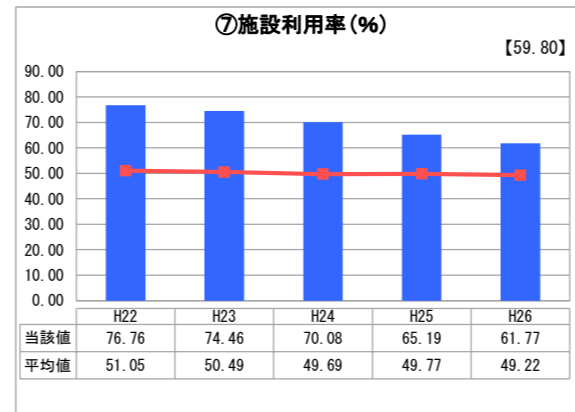
「債務残高」



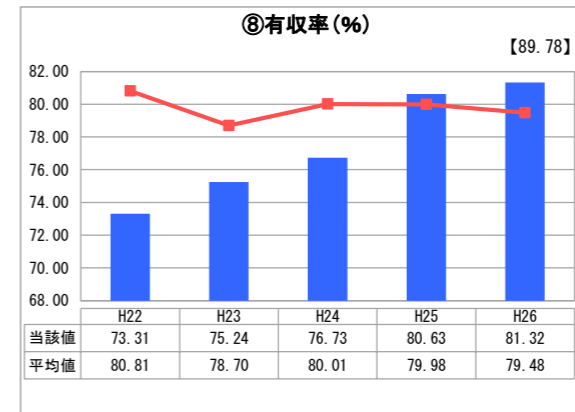
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

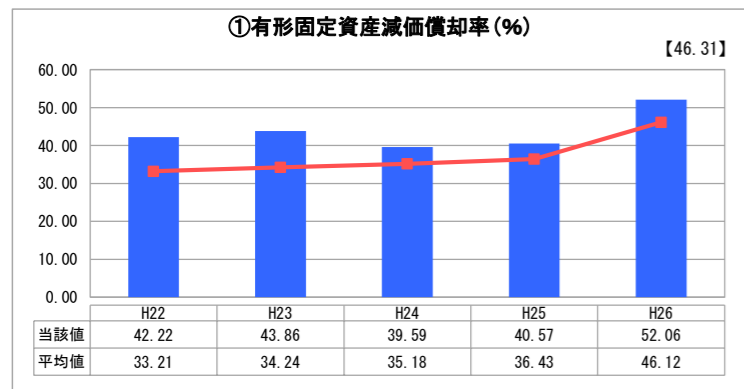
1. 経営の健全性・効率性について

平成22年度は黒字であったが、平成23年度より赤字となり、平成25年度に料金改定を行い、水道使用料の値上げを行ったが、給水人口の減少による水道使用量の減少により、赤字経営となっている。施設の老朽化による修繕費や水質悪化による過処理費用が年々増加傾向にあり、費用の増加が経営を圧迫している。今後、計画的な施設の更新や効率的な水処理を行うことにより、費用を抑え、収支の改善に努めたい。類似団体と比べると料金回収率、給水原価はほぼ同じである。施設利用率は、稼働している施設規模は同じであるが、配水量が減少しており、年々低くなってきている。今後は、配水量に対応した施設のあり方を検討していきたい。有収率については、毎年漏水調査を行い、修理を行うことで、年々向上しており、今後も継続して漏水調査、修繕を行い、有収率の向上に努めていきたい。

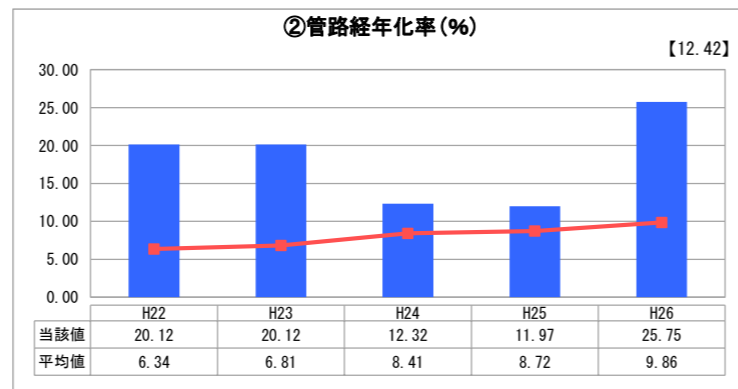
2. 老朽化の状況について

保有施設の法定耐用年数に近づく資産は年々増えており、管路についても更新がなかなか進まず、耐用年数に近づく管路が多くなってきている。類似団体と比較しても、管路の更新が進んでおらず、管路の老朽化が進んでいる。管路更新には多額の費用が生じるため、計画的な管路更新が必要である。

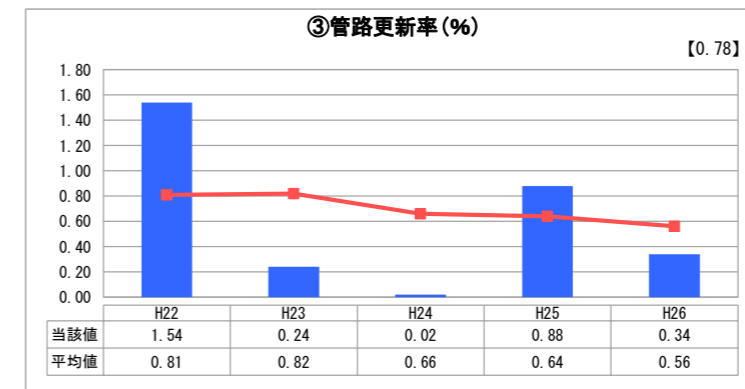
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

水道使用量の減少により料金収入の増加が見込めず、施設の老朽化による費用の増加により、厳しい経営状況にある。投資試算、財政試算を行い、経営戦略を策定することにより、今後の水道事業の状況を的確に把握することにより、経営改善を進めていきたい。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。